

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 2 5 日作成)

小委員会名	廃棄物・ごみ処理設備環境評価小委員会	主 査 名：関 五郎 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会(企画刊行運営委員会)	委員長名：井上 勝夫 主 査 名：関 五郎
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	・ 建築計画での運用面からみた必要な設備やスペース、動線、室内環境条件などを検討対象とした、アカデミックスタンダード(ガイドライン)の作成および刊行 ・	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：	
	関五郎(日建設計)井田光俊(office I・D・A)大塚雅之(関東学院大) 大橋一正(工学院大学)井澤勇八(住商ビルマネージメント)田村誠一(都市環境エンジニアリング)磯部絵美(都市環境エンジニアリング)輿水知(加倉工業) 間宮尚(鹿島建設)新村浩一(三機工業)豊貞佳奈子(東陶機器)青山元(富士重工)杉村総一郎(アートファクトリー玄)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2007 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. これまでの委員会活動にて得られたデータをもとに、建築計画におけるごみ処理施設計画のためのアカデミックスタンダード(指針)の作成を実施する。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 主要自治体からの廃棄物におけるアンケート調査実施。高回収率データ取得 2. WD 作成 3. CD 作成・内部査読実施
委員会活動の問題点・課題	1. DS 作成 2. アカデミックスタンダード作成のためのシンポジウム実施 3. ES 作成

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。